



福音丸新報

No. 94
2019年
12月24日

日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団
委員長：石塚多美子
722-2411
広島県尾道市瀬戸田町
瀬戸田378-1
瀬戸田バプテスト教会内

巻頭メッセージ

「あなたの道を主に任せよ。
信頼せよ。主は計らい」

詩編37章5節

トウン・カン・クップ師

主の御名をほめたたえます。私は、一九九一年に留学生として来日しました。

ようになりまし。人間の思いをはるかに超えた神様です。私は内海部会のためにはまだまだ何も出来ていませんが、内海の方々から私、またはミャンマーのために沢山のことをして頂いたのです。これから神様はどんなことをなさるかを楽しみとしています。

ともあつたでしょう。ビッケル船長(宣教師)の日本の伝道の働きは忘れてはいけないことです。瀬戸内海は穏やかに見えますが、名前通り、時や場所により水の流れが危険であることを、荒川貞雄兄のヨットと一緒に乗りながら教えて頂きました。神様が奇跡を起こさせるためには命をかけるほどの誰かの信仰が必要なのです。

それから、イエスを信じているという時にとっても大事なことは、イエス様が神の子、メシア(救い主)であること、罪が完全に赦されたことを信じていることです。私たちは罪人として生まれて来たからです。罪が赦されたとき、義人として認められ、聖霊が私達の中に住み、導いて、助けて、励まし

思いますが、後から、日本人にこそ主の救いが必要ではないかと感じたからです。

私の母国ミャンマーのためにアメリカからアドニラム・ジャドソン宣教師が来られました。長(宣教師)も豊かなアメリカから当時まだ貧しかった日本(内海)に来られたのです。そのことを知り、励まされ、力づけられました。大変なことばかりではなく、知識、知恵も豊かであったため愛され、尊敬されたこと

て下さるのです。罪が赦されたことを信じ切れないと、「イエスを信じても重荷は減りません。疲れがいやされません」となってしまうのです。喜んで主のために生きることが出来なくなるのです。私たちはイエス様が身代金を払って買い取られた者です。他のことを心配せず、何をしても主の栄光のために生きて行きましょう。

二〇一〇年、杉並中通教会から内海部会の向島キリスト教会へ赴くことになりました。今は広島平和教会にいますが全てが神様の導きでした。神様が私をどうして日本、または内海に送って下さったのかを少し知る

ため愛され、尊敬されたこと

助けて、励まし



クップ師 荒川兄のヨットにて

部会行事報告

新年礼拝

二〇一九年一月十四日（月・祝）、晴天の中、瀬戸田バプテスト教会にて、部会新年礼拝が行われました。小豆島、向島、土生、広島、瀬戸田の5教会から12名が集まりました。食事の交わりでは、各教会をはじめ、お一人お一人の近況報告なども聞くことができました。午後は、全国女



新年礼拝 於：瀬戸田教会

性会高齢者委員会の活動に協働し、「葬儀の備え」について、小グループになって、さまざまな課題や願いを自由に分かち合いました。日本では、家族が一人だけクリスチャンであるという方が多い現状の中、どのように信仰を理解してもらえらえるのか等、普段からの備えの大切さを共有することができました。少人数だからこそその交わりの恵みも感じました。来年は、一月十三日（月・祝）土生バプテスト教会にて行われます。共に、新年の礼拝をお捧げしましょう。

（瀬戸田 石塚多美子）

夏季レクリエーションは中止

九月二十三日に行う予定だった内海部会の夏季レクリエーションは台風の影響で中止となりました。

今年はず前年までと場所を変え、東広島市「憩いの森公園」でバーベキュー大会を行う予定で楽しみに準備を行っていましたが、前日夜に台風17号が山陰沖を通過、影響が残ることが予

想されたため中止の判断をしました。内海地方は少し強い風が吹いた程度で大きな被害はありませんでしたが、台風19号や21号が関東や東北に甚大な被害をもたらすなど、自然災害が頻繁に起こる中、事前の判断の難しさを感じました。何より結果として守られたことを主に感謝致します。

（向島 綿合 剛）

秋の信徒研修会

内海部会は、教会に連なる人々の交わりと学びの為に、年に一度「研修会」を開催しております。今年度は十一月四日（月・祝）に向島キリスト教会を会場に、信徒研修会を行いました。

新改訳2017、聖書協会共同訳と、新しい翻訳の聖書が発刊されている今、「新しい聖書翻訳と私たちの信仰」と題し、広島大学教授の辻学先生を講師にお招きし、聖書について広く深く学ぶ時を持ちました。参加者は、小豆島バプテスト教会は欠席でしたが、部会の4教会17名、他教派3名が出席しました。

午前中の講演では、「聖書翻訳の歴史と多様性」というテーマで、明治元訳〜大正改訳〜口語訳〜共同訳〜新共同訳〜聖書協会共同訳、新改



講師：辻学教授



信徒研修会 於：向島教会

訳〜第3版〜新改訳2017と新しくされてきた聖書翻訳の歴史を学び、いろんな経緯や問題の克服によって、翻訳の見直しが行われてきたことや、

最新の翻訳にもまだまだいろいろな課題が残されていること等、興味深くお聞きしました。

午後の講演では、「神の言葉」を聴く〜聖書の証しと私の証し〜というテーマでお話しされ、聖書の言葉は、そのまま神の言葉なのではなく、神を指し示す人間の証言であり、限界を含んでいるとともに、いろいろな著者による多様性を許容しているということ、そのため、聖書の読み方に「正解」があるわけではないが、自分勝手にではなく、語り手が何を言おうとしているかを捉えようと「誠実に」読み、聖書の声から神の声を聞き分けていくことが大切だということなどを学び、大いに刺激を受けた研修会となりました。

(向島 大谷孝志・綿谷剛)

内海部会 女性会

二〇一九年度内海部会女性会

会長 伊澤由香里

内海部会女性会総会・修養会は二〇一九年五月十一日(土) ビックル船長没後一〇三年記念日に瀬戸田バプテスト教会に於いて開催されました。参加人数は5教会、19名、(内個人会員2名) 北村加奈子全国女性



内海女性会 於：瀬戸田教会

会幹事の陪席のもと総会が開催され、二〇一八年度の各報告、二〇一九年度計画案が承認されました。午後からはミッド社会館館長(大阪神愛教会会員)の吉岡健一氏を講師にお迎えして『やさしい介護』と題して講演と介護実習を行いました。講演の中で高齢化が28・1%である事や、健康を支えるための食事の大切さや、歯を整えるために口腔内の清潔を保

つ事の大切さ、「介護」を「快護」する五つの心得等、多くの事を学ぶことが出来、毎年関西部会女性会高齢者委員会で行われる『優しい介護実習』に参加することが難しい内海部会女性会の方たちにとっても喜んで頂けました。

又今年度の問安は旧安下庄教会の「福音丸記念会堂」(祈りの家としてカトリックの集いやミサ、そして地域の方々に用いられています。)を二〇二〇年二月十二日に訪問する予定を立てています。現在、安下庄では毎週日曜日に「福音丸記念会堂」において瀬戸田バプテスト教会から派遣されている中川純良・このみご夫妻が礼拝を行ってくださっています。カトリックのミサやその後の集いに参加できたらと思います。



教師会 於：安下庄 祈りの家

内海部会 教師会

十一月二十三日、延び延びになっていた今年度第一回部会教師会が、元安下庄教会を会場に所用で不参加の林原師を除く、石塚、クップ、大谷の三教師により行われました。安下庄教会の土地建物は山口正人兄を始めカトリック信者有志が管理運営

し、地域に福音が浸透していく為の場所として、献身的に奉仕しておられます。

この日も山口兄が主催している「ミモザの会」の活動の一つである「ミモザの会」の叙情歌を共に歌う会が行われていました。地域の方々、特に安下庄教会幼稚園(おさなご学園)の卒園児だった方々も含め20名ほどの方々が集まっていました。山口兄の勧めにより、賛美と証をする恵みの時を持たせて頂きました。この教会の会員だった方々は今は離れています。その中でも、現在、瀬戸田教会が働き人を派遣し、会堂をお借りした礼拝が持たれています。更

に、地域に出て行き、福音を伝える働きも始まっています。教会は閉鎖されましたが、福音丸伝道のための多くの方々の祈りが満ちている会堂が、これからも主の為に豊かに用いられるようにとの願いと、各教会の祈りの課題を出し合い、祈禱会をもって、安下庄を後にしました。

(大谷孝志)

内海部会 講壇交換

部会では年に一回、講壇交換が行われ、今年は六月三十日に行われました。教会数の少ない中での交換なので、新しい風をということで、今年から小豆島教会の代表役員代務者の井上正之師(日ノ本教会)に加わっていただき、小豆島は石塚師、向島は林原師、土生はクップ師、瀬戸田は中家姉、広島は大谷師、中島に井上師の予定で行われました。しかし大谷師が六月二十七日に脑梗塞を発症し、緊急入院の為、広島は二年続いてテープ説教になりました。

(大谷孝志)



信仰告白：広島平和教会

バプテストマおめでとう

広島平和キリスト教会

広島平和キリスト教会で、四月二十一日に2名のバプテストマ式が行われました。信仰告白をご紹介いたします。

ザム・カン・タアンくん

わたしはイエスさまを信じます。てんごくへいきたいからです。しんじてバプテストマをうけるものはすくわれますが、しんじないものはほろびのせんごくをうける。(マルコによるふくいんしよ16しよ16せつ)

榎原美恵子姉

この度、イエス・キリスト様復活の日、四月二十一日にバプテストマを受けさせていただくことになりました。誠に光栄なことを存じます。私は、主イエス様を死から復活された神の子として救い主として信じます。

マルコ16章15、16節 それからイエスは言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ

伝えなさい。信じてバプテストマを受ける者は救われるが、信じない者は滅びの宣告を受ける。」

神様、イエス・キリスト様、これからの私の人生を迷うことなくお導き下さいますようお願いいたします。私自身、初心を忘れることのないよう努力してまいります。

神学校研修旅行&

関東部会中高生

ミッションキャラバン

瀬戸田バプテスト教会

ミッションキャラバンと神学生たちの訪問は、まさしく神さまからの恵みと励ましに満ちあふれたものでした。少なくとも、イエス・キリストを信じ、誠実にそれぞれの島々で生きている信徒一人一人と中高生たちの出会いと交わりの中に、神さまが美しい霊の実を結んでくださったことを信じています。礼拝では、瀬戸田の狭い礼拝室がいっぱいになりました。そして、渡邊さゆり師が作詞・作曲してくださった「しまの風 霊の結ぶ実」という美しい賛美を届けてくれました。礼拝後には、強



神学生研修 中島集会所



ミッションキャラバン 瀬戸田教会

神学校研修旅行 & 関東部会中高生ミッションキャラバン来訪



神学生とミッションキャラバン奉仕 大三島

風で倒れた教会墓地の木々をきれいに片付け、教会の祈りの中で大切にしている宣教の業にも携わってくださいました。その中で、なかなか教会員だけではできない、大三島教会堂跡地のお花畑プロジェクトが一気に進みました。キャラバンのみなさ

バーは、大きな励ましを受けました。今、原の畑には、大根と小松菜がなっています。簡単に来られる距離ではないのはよくわかりますが、ぜひまた来てくださいな、と、私は何度も声をかけていました。

(石塚多美子)

んによって、草が刈られ、土地が耕され、季節ごとに咲く様々な種や苗が植えられていきました。今、コスモスの花が美しく咲き、しまの風に揺れています。

また、そこには、家ではないけれども、祈りと憩いの場となる、「祈りのテラス」を建てようとしています。来年度もキャラバンが訪問するかはわかりませんが、再訪の時には、そこでゆっくり座って祈りの時をもつのを楽しみにしています。

キャラバンと神学校研修旅行で来られたみなさんが原に宿泊し、毎朝礼拝をし、畑にも種をまいてくださり、教会員は、特に原伝道所として礼拝を捧げていたメン

広島平和キリスト教会

八月十六日、研修旅行初日、研修生たちは2時間ぐらい遅れて教会に到着され、クップ師手作りのカレーライスの昼食タイムとなりました。渡邊さゆり先生のあいさつ、「旅行初めの礼拝もまだで、昼食後、礼拝をしたい。2時過ぎにはここを出発したい」とのこと、時間が限られている中での交わりとなりました。昼食時、広島平和キリスト教会のことについて話すことができました。

「日本バプテスト同盟独自の拠点開拓伝道の2番目の教会として、全国の兄弟姉妹方の祈りと献金により建つられた。宣教師(スウエーデン)の助けを頂きながら伝道活動を始め、会員30名

近くなり、教会設立。現在の状況は小さい子どもが増えていく。フィリピン家族が3家族。国際化してきて、メッセージは英語に訳した週報を作っている。現会員数は20名ぐらい。子ど

も達の成長を支援していきたい。5年前、土砂災害がこの地区にあり教会は床下浸水だけだったが、ここを拠点に多くの教会関係のボランティアが被災された家の土砂除去など活動された。その時は市内の教会連合を中心にも多くの教会からたくさん支援・協力をうけた。」

昼食後の礼拝の中では、関東部会の青年の方々にも向けて、これからの研修旅行の意義や内海部会の特徴(福音丸での伝道)メッセージが語られ、賛美がされた。内海の諸教会を



神学生とミッションキャラバン 広島平和教会

訪ねていろいろ学んでいかれるのだからと期待をいただきました。関東からの長旅となりましたが、神様の守りと祝福を祈りました。

(野村篤子)

土生バプテスト教会

八月十七日(土) 学生は瀬戸田よりレンタカーで土生バプテスト教会訪問・教務主任 渡邊さゆり師、他4名、サイドルームで因島の歴史、教会の歴史を紹介。短い時間でしたが、神学校を卒業して冠婚葬祭、特に葬儀への備えの必要性をお話しました。そのほか独身で教会に就任する場合、男女関係(セクハラ)への配慮、結婚していても金銭問題で短期間で辞任する牧師、就任や辞任をする場合せめて挨拶のハガキを出すことが社会常識ですが、教会に就任する場合その指導が求められる。

八月十八日(日) 山田三千江姉(二年生)が証「光りをいただいて」土生バプテスト教会で奉仕、マタイによる福音書5章14・16節 山田三千江姉はご主人である塩釜教会の牧師先生を天にお送りして間もない時期でしたので、健康状態が守られますようにお祈りします。

(林原弘)

向島キリスト教会

八月十七日午後、神学校研修旅行中の神学生4名と教師2名が向島教会を訪問、教員と楽しい語らいの時間をもちました。



神学生との交わり 向島教会

八月十八日(日)には浅輪一郎神学生と丸山大二郎神学生が礼拝に出席、浅輪兄が説教を、丸山兄が証をされ、豊かな聖日礼拝が守られました。



神学生の証し 向島教会

八月十八日(日)午後 中高校生7名と高橋彰師と引率者3名の関東部会中高校生ミッションキャラバンを迎え



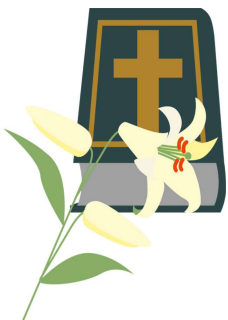
ミッションキャラバン 向島教会

ました。向島で毎月配布しているクリスチャン新聞と教会機関誌旬報「地の塩・世の光」をグループに分かれて配布し、夕食愛餐会の後、聖日夕礼拝を共に守りました。

(大谷孝志)



ミッションキャラバンによるチラシ配り奉仕 向島



思い出 矢田部俊夫先生と

光江夫人

小豆島バプテスト教会 岡田栄子

「92歳猛書にめげず生きておる。」
私の大好きなこの句を作られてから二年後、先生は天に召されました。私は26年前の六月遠浅の海岸で海にどっぷり浸かって矢田部俊夫先生からバプテストを授かりました。写真を見ると胸がうずくほど懐かしいです。脳梗塞の後遺症のため不自由な体なのに、いつも前向きで行動されていました。何事もキツチリなさる方で奥様は大変だろうといつも思っていました。

あの当時、小豆島では、ボランティアは「お金と暇のある人のする事」という考え方が一般的でした。(現在もあまり変わっていないように思います)先生ご夫妻はそれを無視してどんどん物事を進めて行き、私たちも引張って行って下さいました。あの時時かれた種は、今も生き続けています。でも何より、貧乏教会の資金作りとして素麺の販売を始めた事、最初はお二人だけでコツコツと。私たちには想像も出来ないア



海でのバプテストマ 小豆島教会

アイデアです。おかげで雨漏りしていた屋根も、白蟻の入った柱や壁も修繕できました。ありがとうございませう。お二人は小豆島教会へ、いっぱい一杯おみやげを置いて横浜へ帰って行かれました。先生はいつもおだやかで怒ったところを見たことがありませんが、ボランティアの仲間のうちでは、言葉がキツイという人がいました。東京弁は小豆島ではキツく感じられるのです。先生ご自身がキツイわけはないのに。言葉がチョット損をしたな、と懐かしく思い出されます。

矢田部先生と光江夫人に心からの感謝を！「矢田部先生さまようなら。」

リャンさんとの出会い

向島キリスト教会 水戸川佳子

「水戸川さん、ミャンマーにいる私の姪が日本で医者として働きたいのですが、どうしたらいいでしょうか。」

4年前に向島キリスト教会の牧師だったクップ先生から相談を受けて興味を持ちました。ハウ・ナイ・リャンさんは、ヤンゴン第2医科大学を卒業したミャンマーの医者です。リャンさんの家庭は裕福ではなく、クップ先生の兄の、リャンさんのお父さんとクップ先生が東京で働き、リャンさんの学費を仕送りされました。病院での勤務や教会のボランティアをしていたリャンさんは、もっと高度な医療を学びたいと考えているとのことでした。

まずは、横浜YMCAで日本語を勉強して日本語能力検定2級に合格しました。現在は、ミャンマーに帰って1級に挑戦しています。来年に日



リャン姉

本に再び来て東京の外科系の病院で外国人臨床修練制度を使って研修を予定しています。日本の医師国家試験に合格するのを目標にしています。私のノンクリスチャンの主人も私の働きに理解を示してくれ、医者立場からアドバイスしてくれくれます。道のりは決して平坦ではなく思うようにいかないことも多いですが、リャンさんと私の二人三脚を神様が導いてくださっていることを信じています。

また、クップ先生はミャンマーのモービで学校に通えない子供たちのための寮を運営されていて、日本基督教団の尾道吉和伝道所の島田先生たちがサポートされており、教派を超えた働きとなっています。皆さん、覚えてお祈りください。

尾道・街角のクリスマスキャロル

向島キリスト教会 綿谷 剛

尾道ではクリスマスに超教派の信徒が集まり、街角でクリスマスキャロルを歌い、道行く人々に聴いていただくという行事を行っており、向島キリスト教会も参加しています。

この行事は、日本基督教団尾道吉和伝道所の信徒である行平えりこ姉からの「ぜひ街の一般の方々にイエス様の誕生を知ってもらいたい、そ

東からも西からも



街角のクリスマスキャロル練習会



街角のクリスマスキャロル 於：尾道商業会議所跡広場

のために主を信じる者が心を合わせてキャロルを歌い、町の人々に聴いてもらいたい、できれば一緒に歌っていたらいい」との呼びかけに尾道市内の各教派諸教会のクリスマスチャン達が賛同し、二〇一六年に実行委員会を立ち上げ、その年のクリスマスから始められたもので、毎年棕櫚の主日の午後行われ、今年で4回目となります。

1回目は尾道駅前広場、2回目と3回目は尾道旧商業会議所跡広場で行われました。曲目は「きよしこのよる」「まぎびとひつじを」など良く知られたキャロル6曲と、昨年はハンドベルにも挑戦してみました。

練習は事前に3〜4回、教会持ち廻りの会場で行っており、素人ながら私（綿谷）が指揮を行っています。またウェブページで楽譜や練習用の音源をダウンロードできるようにもしています。

ところが今春、発起人であり事務局をしてくださっていた行平姉が以前から闘っておられた病のため召天されました。本当に悲しいできごとでした。今年の開催はできないのではと心配されましたが、祈りの中でカトリック尾道教会の村上道恵姉が事務局を引き受けて下さることとなり開催継続が決まりました。

今年は、昨年と同じ旧商業会議所跡広場で歌った後、尾道商店街をキャロリングし、新しく建て替えられたJR尾道駅の2階デッキで、駅ナカコンサートとして行う予定です。一人の信徒の信仰の思い

から始められたこの行事がこうして続けられることに主の導きを感じ感謝します。一人でも多くの方々に讃美の歌声を届けられたらと祈っています。

小豆島バプテスト教会

現在も無牧で井上正之牧師が代務者となつて下さり、7年目を迎えました。年間3回の説教と、聖餐式、さまざまな指導を頂いております。又、教会員でもある中家京子先生が、毎月1回の説教、聖餐式を無償奉仕して下さいっております。中家秀雄兄も共に参加され、いろいろとご奉仕を頂いております。それ以外は、藤井勇次牧師から頂いたテープで礼拝を行っています。礼拝参加は、教会員6〜8名で、その他、小豆島への旅行者が教会に立ち寄って礼拝に参加されることが時々あります。

○恵みと賛美の時

月1回、土曜日の三時から中家先生ご夫妻を囲んで、讃美歌を歌い、紙芝居の題材から聖書の学びをしています。

○講壇交換

六月三〇日、石塚多美子牧師をお

教会短信

招きして、礼拝と交わりの時を与えられ、有意義な楽しい時を過ごすことができました。ありがとうございます。

○召天者記念礼拝

十一月三日に行いました。主の業に励み信仰をもって生涯を全うされた方々、とりわけ、先日天に召された矢田部俊夫先生、柴田宏先生を偲んで祈りを捧げました。矢田部先生は、私どもの教会で11年間、柴田先生は3年間、牧師として働かれました。感謝します。

(石本恭子)



小豆島バプテスト教会

向島キリスト教会

向島では、教会学校の生徒は小学生3名ですが、教師は5名です。その他に教会学校には出られず、聖日礼拝に出ている小学生と高校生がいます。教会学校として、世代を超えた交わりの時を計画し、今年は、焼き肉パーティーとピザパーティーの2回を瀬戸田教会原集会所をお借りして行いました。

月2回開かれているオープンチャーチ【タラント】は、地域に開かれた教会の良き働き場となっていて、多くの方々がこの会を楽しみにして毎回のように通って来られます。その中から7名の方がクリスマス礼拝と祝会に出席されました。

十月二〇日に来日中のスウェーデン教会の3人の大学生を迎え、礼拝を共に守りました。男子青年が証をし、教会員が通訳をし、国、民族を超えた信仰の恵みを戴きました。

その他に、第五週の聖日礼拝は牧師が説教せず、信徒の証しがあります。毎回数名が受けた恵みを証ししています。また、水曜午前の祈禱会には祈禱会のない教会からの方々も含め、毎週5、6名が出席しています。今はヨハネの黙示録を学び、その後、牧師が質問に答えたり、感想を言い合ったりと恵みの時を持ち、最後に祈りの時を持ち、主の祈りを持って終わります。

(大谷孝志)

土生バプテスト教会 & 重井幼稚園

本年のみ言葉「イエスは、みなの方に言われた。『だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々、自分の十字架を負って、わたしに従いなさい。』」(ルカによる福音書9:23)

- ・ 四月一日 学校法人 田熊認定こども園 辞令 (田熊幼稚園84年の歴史を終えて)
- ・ 五月十二日(日) 土生バプテスト教会総会
- ・ 森春子姉は十月八日に召天(95才)、



CSバーベキュー大会 於：原集会所



CSピザ大会 於：原集会所



布絵教室 向島教会



田熊認定こども園 就任式



田熊認定こども園 収穫感謝祭

十一日告別式。
 ・五月二十三日 黒山治子姉(83歳 召天)、二〇一九年一月五日 村上タメコ姉納骨記念式
 ・七月六日(土) 田熊幼稚園(旧園舎)にて感謝礼拝、因島田熊町一〇二五九 講師①松平季子姉②美登順子姉、
 ・七月七日(日)讚美礼拝「人に仕える」 讚美礼拝 松平季子、美登順子、
 ・十一月六日(水) 田熊認定こども園収穫感謝祭 芋パーティー
 ・十一月十七日(日)大関敏明師(土



重井幼稚園 村上充輝氏講演会

生バプテスト教会名誉牧師)礼拝奉仕
 (林原弘)

重井幼稚園

・四月一日 重井幼稚園 柏原美里 教諭 (松山東雲大学卒) 辞令
 ・荒川貞雄兄よりピザ窯の寄贈が重井幼稚園にあり、十月一日初釜のピザの試し焼きを行いました。
 ・十一月七日(木) 重井幼稚園 講演会 講師 村上充輝氏(重井幼稚園卒園生、元中学教師)
 (林原弘)

瀬戸田バプテスト教会

二〇一九年の歩みも、神さまによって守られ感謝です。少ない人数で、礼拝と他の島々での集会のために、祈りと奉仕を捧げています。その中で、二つの希望があります。一つは、CSの働きが継続する中で、日曜日に集まってくる子どもが増えてきたことです。今年のイースター礼拝には、保護者も含めてたくさん卒園児が集まりました。博愛幼稚園とのつながりを大切にしながら、これからも、卒園児と保護者が教会に導かれるよう、働きかけを続けていきたいです。

もう一つの希望は、聖書をしっかりと読みたいと自主的に声をかけてくださった方々が与えられたことです。今、中島と原で、それぞれ個別に聖書と向き合う時を持っています。聖霊さまの導きで、その方々がイエス・キリストを救い主と信じて歩みを進めていけるよう祈っています。
 今年は、訪問者が多く与えられ、私たちはとても励まされました。五月には、日本聖約キリスト教団青年会が原で一泊のキャンプをしました。八月には、関東からミッションキャラバンと、神学校の研修旅行での訪問がありました。十月には、スウェーデンから研修に来ている青年3名が瀬戸田教会集会室に宿泊しながら奉

仕をしてくれました。そのような豊かな交わりによって、教会員が神さまからの愛と恵みを受けて前に進んでいけることを心から主に感謝しています。
 (石塚多美子)



瀬戸田 CSイースター礼拝

原伝道所 「ようきたのう」

原伝道所は今のところより、少し離れた海岸の近くにありました。私は高校生の時そこで救われ、中本先生の司式によりバプテストマを受けました。

そこから今の場所・建物に移転しました。仲栄子牧師が小豆島退職後、原伝道所に住んでくれました。その

仲先生も一九一五年二月に召されました。たくさんのお金をささげてくださいました。その献金で原伝道所をリフォームし、クーラーもつけることができました。

そして石塚先生赴任後、毎週木曜日、原に来てくださり、活気づきました。そして、次々とお客さんが来てくれるようになり、今では月1回の原礼拝もできています。

岡山からたくさんのお青年たちが集ってくれた時、天国から杉野唯三おじ

さんの「よう来たのう。」という声が聞こえてきました。こんなに若者がたくさん集まって活用してくれていること、どんなにか喜んでくれていたんだろうなと思いました。

原伝道所の創始者は今中シゲ夫人です。「青年時代、結核の病み上がりで温かく迎えて、我が子のごとく温め育ててくださった愛と恩義を今も忘れることできません。」とシゲ夫人のことを語った杉野のおじさんです。おじさんは原伝道所をこよなく愛していました。

私は長い間教会を離れていました。時に、その高い敷居をまたいで礼拝に行くこと、おじさんは「何で教会へ来んのか。」でなく、「ようきたのう」の一言でした。ホッとすると、今日まで信仰をつなぐことができましたので。

今中シゲ夫人、そしてその後、原を支えてくださった先生方、みんな喜んでくださっていると思います。

荒川さんが内海部会へと原にピザ釜を寄付してくだ

さり、活用が始まっています。「一日福音ピザカフェ」などという夢もふくらみます。皆さん原へどうぞおいでください。

(毛利秀子)

中島集会所

広島平和キリスト教会トウンカンクップ牧師のご奉仕もあり、今年も、月2回の礼拝を捧げることができていることを感謝しています。昨年は、西日本豪雨災害や台風のためにフェリーの欠航があり、礼拝できないときもありましたが、今年はいままで守られています。

夏には、神学校から、教務主任の



日本聖約キリスト教団青年修養会 於：原集会所



スウェーデン青年研修旅行 於：原集会所



神学生と祈里丸 於：中島大浦港

渡邊さゆり師と4名の神学生が夕礼拝に来てくださいました。司会も証もメッセージもすべて神学生が準備してくださり本当に恵まれ、励まされました。

また、みなさんに祈っていただき、地元の方のご厚意で、石塚丸より大きな漁船を手に入れることができました。ちょうど神学生たちが来島していたので、祈り、命名してもらいました。「祈里丸(いのりまる)」によって、もっと気軽に短時間で誰かを乗せて中島や安下庄に行き来する日も近いでしょう。

十二月には、瀬戸田と中島との合同礼拝に合わせ、中島の子どもたちを招いての子どもクリスマス会も準備しています。これからも、共に中島に渡って礼拝を捧げてくださいる助け手が与えられること、また、新しい方が招かれるよう祈って働いていきます。(石塚多美子)

旧大三島教会 大三島祈りのテラス起工式

大三島バプテスト教会堂跡地にて二〇一九年十月十二日(土) 祈りのテラス起工式が執り行われました。

二〇〇一年芸予地震で罹災した会堂は耐震等の問題で取り壊され、いつしか荒れ果て十余年の時が過ぎていました。

そんな現状を嘆き、再びこの地で礼拝が捧げられることを祈り続けて



大三島教会堂跡地にて

こられた大三島在住の小笠原クニ子姉、御歳93歳になられる姉妹は誰よりもこの日を待ち望まれていたことでしょう。

姉妹の愛唱讃美歌521番を歌い、かつて会堂に備えられていた文語訳の聖書で、エペソ書2章14〜22節の朗読、祈祷、その後工務店の池田さんが、定礎石として選ばれた石のお話をして下さいました。「この石は、ひとつとして同じものは無く、その形はバラバラ。それを敷き詰め床を造るけれど、その答えは一つでは無く、これが正解といった物も無い」その昔福音丸で島々への伝道がなされていた頃礼拝の始まりを告げたハンドベルの響きの中、毛利執事と伊澤執事により聖書が埋蔵されました。昨年来丸山大二郎神学生から始まり、今夏関東部会中高生ミッション

安下庄教会 (祈りの家)

主の二〇一九年六月九日、聖霊降臨日に山口県周防大島の安下庄で日曜礼拝が始まりました。

この場所は、かつて安下庄バプテスト教会が二〇一四年まで存続していましたが、現在は建物が残されているだけです。この建物は、改めてご説明する必要はないかもしれませんが、かつて瀬戸内海の島々を船で巡って伝道した「福音丸」の働きが終了し、役目を終えた「福音丸」の売却代金を主な資金源として建てられました。そのため、この建物の入口扉の上部には「福音丸記念會堂」と記されています。現在では、「花咲く郷祈りの家」と称して、地域社会のコミュニティの場として利用され

キャラバンと神学生達の協力で広がる花畑プロジェクトと合わせ、祈りのテラスが大三島で再び伝道の場として用いられますように。(太田敬子)

ています。

この場所で、毎週日曜日の午前十時から礼拝が守られています。現在では他団体が管理運営しているため、この場所で礼拝を守ることができないこともあります。そのようなときには、礼拝開始以来続いて出席されている方のご自宅(「小羊の家」という鍼灸院でもあります)を開放していただいて礼拝を守っています。レギュラー出席者3名という、まことに小さな群れですが、毎週の日曜礼拝をこれからも続けることができるよう祈りに覚えてください。すなら幸甚です。(中川純良)



安下庄 祈りの家

広島平和キリスト教会

主の御名を賛美いたします。

暑い夏もようやく過ぎ、秋の訪れを感じることもなく冬を迎えようとしています。各々の教会の皆様、主と共にあってお過ごしのことと幸いです。私たちの教会では、十一月十七日に教会秋の伝道コンサートを予定しています。今年は二胡奏者の方に来ていただいていたコンサートを開催することになっています。二胡という楽



安下庄 祈りの家



二胡コンサート 広島平和教会



呉からのミャンマー人3家族と 広島平和教会



バザー 広島平和教会

器、ご存じでない方もいらっしゃるのでは？ 中国の楽器で2本の弦を巧みに操り素晴らしい音色を奏でてくれます。今からとても楽しみにしています。

又、私たちの教会では出産ブームが続いています。十一月は一人誕生し、又、来年の一月にも誕生することになっていきます。教会員皆が一緒にになり、新しい命に感謝し、喜びを頂いている状況です。

私たちの教会は子どもがたくさんいます。本当に感謝するべきことだと思っています。CSのメッセージ

が終われば子どもたちは分級に入ります。分級ではCSメッセージの復習をしたあと、各々が遊びに入りますが、外で遊ぶ子、中で遊ぶ子、ともにぎやかにあります。CSの校長はじめ信徒たちは、子どもが安全に過ごせるように見守りをしていきます。とくにCSの校長は子どもたちがいつになっても教会に繋がってほしいと願われ、その思いを私たち信徒一人一人受け継ぎ、CSの担当をしています。CSメッセージの前の子どもさんび、又、その後の暗唱聖句は子どもたちの声が響き、私

たちと一緒にイエス様も喜んで下さっているだろうなど、ほほえましく礼拝に与っています。これからの子ども一人一人の成長にあわせてどれだけ神様と繋がっていかれるのか？ 私たち教会のCSの課題であると思っています。



(鵜野早葉子)

イエス様あなたを賛美します

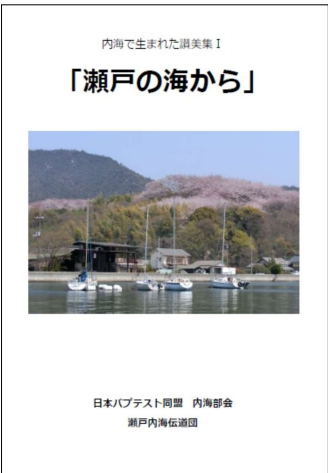
詞・曲 : Tuang Khan Khup & Cing Hau Lian

Musical score for "Jesus I love you" in G major, 4/4 time. The score includes chords (A, E, F#m, C#m, D, E, E7, Bm, D.C. al Fine) and lyrics in both Japanese and English. The lyrics are: "Jesus I love you, あなたを賛美します。す Je - sus I love you, あなたを賛美します。す わたしのためにも。じゅうじかのうえで、くるしみと死。主 イエスさまは、い つ も と も。を に うけてくださる。いてく だ さ っ た る。だ から イエス さ ま を 信 じ る だ け で。だ から わ た し は ひ と り じ ゃ ない。つ み が ゆ る さ れ す く わ れ た い。お そ れ る こ と は なん に も な い。"

内海で生まれた賛美

(c) 2019. 10 Tuang Khan Khup & Cing Hau Lian

内海部会では、来年度の発行に向けて、讚美集「内海で生まれた讚美」の作品を募集しているところです。現在、20曲を越える作品が集まってきているところで、楽譜作成ソフトで編集を行っているところです。でき上りがとても楽しみです。



イエス様あなたを賛美します

広島 トウン・カン・クップ

「内海で生まれた讚美」に応募しようとして、「平和」という讚美を作りました。そして、もうこれ以上は出ないだろうと思っていたところ、娘のチンハウリヤン(花)が「歌を作る!」と言って、「Jesus I love you あなたを賛美します」とピアノを弾きながら何回か歌っていました。それを聴いて、最初は歌にはならないと思いましたが、イエス様の救いを賛美する曲として作ってみることにしました。

主に感謝します。

ミラクル

詞・曲：溝淵尚子 編曲：綿谷剛

Allegro (♩=120)

C Bdim Am7 Em7(b5)/G F C C7

イエスさまのなさることは

7 FM7 Dm/F CM7 FM7 Dm/F CM7

ミラクル ミラクル ミラクル ミラクル

11 C G/B G7 FM7 Fdim/G C

いのりにも こだえ— てく ださるる
 ともだちと なかなお— りで きるる
 こころを なぐさめ てく ださるる

Copyright (c) 2019. 7 Naoko Esther Mizobuchi

【編集後記】

台風などで各地で被害があり、今も困難な中にある方々に心からお見舞い申し上げます。内海地方は昨年は集中豪雨に見舞われましたが、今年には被災を免れています。祈り合い支え合っていきたいです。そんな中ではありますが、福音丸伝道により誕生した教会の群れの今を皆さんにお伝えできていることを感謝します。今後ともお祈りとお支えをよろしくお願い申し上げます。(編集委員 石塚多美子、大谷孝志、綿谷剛)



ミラクル

向島 溝淵尚子

教会学校や勤め先の学校での働きで、自分の中ではいろんな思いや計画があります。でも、自分ではなく神様が計画され導いて下さいます。神様の方法で自分の希望がかなえられたとき、本当に不思議と喜びを感じます。そんな神様のなさる御業の不思議さを歌いました。

福音丸伝道継続事業献金感謝

2018年度 献金感謝一覧

団体名称	教会名称	教会名称
日ノ本学園高等学校	山下バプテスト教会	越谷伝道所
関東学院六浦小学校	松島キリスト教会	潮来教会
捜真小学校	曾根キリスト教会	日本バプテスト厚木教会
厚木幼稚園	日本バプテスト深川教会	
捜真小学校PTA	日ノ本教会	小豆島バプテスト教会
関東学院小学校	大阪神愛教会	広島平和キリスト教会
捜真女学校高学部中学部	関西部会新年信徒大会	向島キリスト教会
関東学院中学校高等学校	奈良佐保キリスト教会	土生バプテスト教会
	帯広伝道所	瀬戸田バプテスト教会

氏名	氏名	氏名	氏名
松平季子姉	藤井勇次兄	矢田部俊夫兄	田頭サヤカ姉
森明美姉	横瀬実兄	原田哲雄兄	田辺幹夫兄
益巖兄・昌子姉	蟹川京子姉	生駒桂子姉	田中良子姉
臼井嘉男兄	中本仁一兄	荒川貞雄兄	吉田薫姉
石塚多美子姉	中家秀雄・京子姉	丹野真人兄	古野郁子姉
山根幹枝姉	関田明美姉	三浦花子姉	島田秀子姉
野村篤子姉	藤崎亮介兄	柴田宏兄	伊澤岩雄兄・由香里姉

内海部会以外教会・団体 20	内海部会教会・団体 5	個人 28	合計 53	前年 44
----------------	-------------	-------	-------	-------

内海伝道団会計報告・予算

項目	2018年度予算	2018年度決算	2019年度予算
収入			
内海外教会団体	200,000	343,400	250,000
個人	200,000	295,000	250,000
前年度繰越	281,458	281,458	718,168
収入計	681,458	919,858	1,218,168
支出			
開拓応援伝道費	200,000	90,000	200,000
諸教会応援費	50,000	50,000	50,000
福音丸新報発行費	100,000	22,800	25,000
送料	0	31,720	35,000
振替手数料	5,000	5,550	6,000
事務費	20,000	1,620	10,000
活動費	-	-	50,000
ミモザ会費	-	-	20,000
予備費	306,458	0	822,168
支出計	681,458	201,690	1,218,168
次年度繰越金	0	718,168	0
合計	681,458	919,858	1,218,168

開拓応援伝道費は各教会の開拓伝道費の補助
諸教会応援費は中島集会所の補助

感謝とお願い

主のご降誕をお喜び申し上げます。
瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業のためのお祈りと貴重な献金を感謝申し上げます。
内海部会も年々縮小化する傾向にありますが、昨年も皆さまのお祈りとお支えにより、主の御業の一助としての活動ができましたことを感謝致します。どうぞ今年もご支援のほどをお願い致します。
瀬戸内海伝道団会長 石塚多美子
☆献金の送付は、同封の郵便為替用紙、または
「瀬戸内海伝道団」
口座番号 01340-3-11913
にお願い致します。

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲2071-22	0879-62-2053	井上正之師(代) 中家京子師(補)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町16058-22	0848-44-2762	大谷 孝志師
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町1602-1	0845-22-0593	林原 弘師
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘師
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田378-1	0845-27-0173	石塚多美子師
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦2107-10		(兼)石塚多美子師
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木3-5-17-10	082-872-1150	トゥン・カン・クワップ 師